



(株)松尾青果

(南島原市)



お話を伺ったのは
代表取締役

まつお ひろあき
松尾 博明さん



つたエールけん

県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

バレイショを中心に 全体の売上高は20億円

農家の12人きょうだいの末っ子として生まれ、10代の頃から全国各地の農業先進地をまわり、見識を広めました。1978年、地元の南島原市南有馬町で現会社の前身となる松尾商店を創業。現在は主に地元の農家約200軒の農作物を集荷し、全国の市場に卸しています。主力商品のバレイショは年間1万2000トンを出荷。本社および愛野営業所(雲仙市)のほか、北海道にも営業所があります。



南島原市にある本社



レタスは大手ハンバーガーチェーンなどにも出荷

全国に向けて 安定供給を可能に

当社の特徴は、長崎県産のバレイショに加え、南は鹿児島県産、北は北海道産のものも仕入れることで、全国に向けて年間を通して安定したリレー出荷ができることです。バレイショ以外にも、レタスやキャベツ、ブロッコリーを関連会社の農業生産法人で栽培しており、新鮮で良質な野菜を安定供給するための体制を整備しています。

働きやすい環境づくりで 農業を支える人材を確保

社員は年齢、性別、国籍を問わず65歳の定年後も給料はそのまま再雇用しています。高齢者がやりがいをもって働くことができるだけでなく、ベテランの技術を若い人に継承できるメリットもあります。また、有給休暇は希望した時に気兼ねなく取れるほか、新型コロナ前は2カ月に1回社員全員で食事会を開催していました。これからも誰もが楽しく、働きやすい環境づくりに取り組み、社員と共に、地域農業の発展のために頑張ります。



働きやすい環境づくりで「Nびか」※に認証。農作業の請負、耕作放棄地の有効活用などにも取り組んでいる

※長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度

バレイショの一大産地、島原半島で
働きやすい農業の職場づくりに取り組んでいます

